



チャンギ総合病院(シンガポール)

第65期 株主通信

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日

その先の向こうへ

GOING FURTHER

 **五洋建設株式会社**

証券コード：1893

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに平成26年度（第65期）の事業概要ならびに今後の見通しにつきまして、ご報告申し上げます。



代表取締役社長

清水 琢三

Q 平成26年度の経営環境を振り返って、いかがでしたか。

A 平成26年度の建設業界を取り巻く環境は、国内においてはアベノミクスの財政政策、成長戦略の着実な実施により、昨年度に引き続き官民ともに良好な状況でした。

公共投資は、平成25年度補正予算と平成26年度一般会計予算を合わせた「15ヶ月予算」が執行され、高水準で推移しました。民間投資につきましても、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動が住宅投資にみられたものの、企業収益の改善などを背景に民間設備投資が増加するなど明るさが見えてきました。

海外においても、当社の主要市場であるシンガポール、香港などの東南アジアにおいて、港湾、空港や鉄道などの社会インフラ整備を中心に多くの大型プロジェクトが出件されました。

以上のように、国内外ともに旺盛な建設需要に支えられ、経営環境は良好でした。

Q 受注の状況はいかがでしたか。

A 当社個別の建設受注高は、前期と比べて60.4%増加し、過去最高の7,164億円となりました（これまでの過去最高は1996年度の6,258億円）。進出50周年を迎えたシンガポールならびに香港での複数の大型工事の受注により、海外の受注高が3,558億円（前期比129.8%増）と過去最高となったことが大きく寄与しています。国内においても、国内土木1,891億円（同28.9%増）、国内建築1,714億円（同18.2%増）と大幅に増加しました。

Q 平成26年度の連結業績についてお聞かせ下さい。

A 売上高は、前期と比べて11.8%増加し、4,262億円となりました。増収に加え、一部の海外連結子会社の業績が好調だったことなどにより売上総利益が増加し、

営業利益122億円（前期比24.2%増）、経常利益113億円（同24.4%増）、当期純利益61億円（同64.3%増）となりました。連結・個別ともに当期純利益は過去最高となりました。

Q 中期経営計画を見直したと 何っております。

A 昨年度は中期経営計画（2014～2016年度）の初年度でしたが、連結・個別ともに最終年度の売上高と当期純利益の目標値を上回ったこと、また好調な受注を背景に手持工事量が増加したことから、今年度ならびに最終年度の業績目標を上方修正いたしました。また、新たにROE（自己資本利益率）8%以上、配当性向20～25%という目標を設定し、株主価値向上への取組みを明確化いたしました。

平成28年度（2016年度）連結主要数値目標（単位：億円）

| | 当初目標 | 修正目標 |
|-------|-------|-------|
| 売上高 | 4,050 | 4,880 |
| 当期純利益 | 50 | 77 |

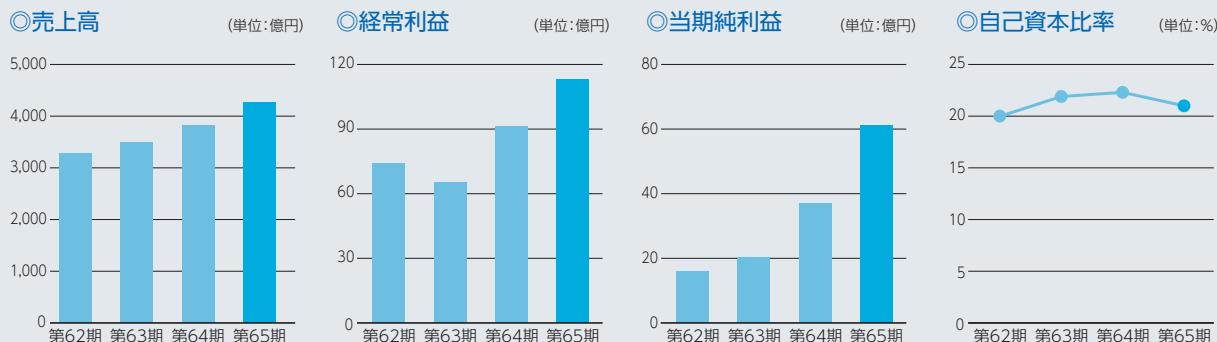
Q 今年度の見通しについて お聞かせ下さい。

A 今年度の連結業績は、国内外ともに手持工事の増加により、増収増益の見込みで、売上高4,670億円、営業利益145億円、経常利益135億円、当期純利益65億円を計画しています。

建設業を取り巻く事業環境は、国内・海外ともにインフラ投資が旺盛であることから、引き続き良好に推移すると予想されます。このような中、増大する事業量に対応すべく、新入社員、60歳以上のシニア社員、女性社員、外国人社員など多様な人材の確保と育成、ならびに現場においては省力化、工業化の推進による生産性、安全性の向上に努めてまいります。また国際部門は、この4月より国際土木本部、国際建築本部、国際管理本部の3本部体制とし、土木本部と建築本部はシンガポールに拠点を置いて一層のローカル化とグローバル化を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【連結業績の推移】



空港の耐震対策への取組み

国土交通省は、国土強靱化基本計画等を踏まえて、空港の耐震化や老朽化対策等の防災・減災対策を推進しています。

当社は、稼働中の施設を止めることなく、液状化対策を必要とする箇所をピンポイントで改良できる「浸透固化処理工法」を開発しました。1998年に羽田空港B滑走路の耐震補強に採用されて以来、当社は多くの空港や港湾で施工実績を積み重ねるとともに、曲がり削孔の技術や、削孔距離・精度をさらに向上させた長距離対応型の技術を開発してまいりました。

2014年度、当社が施工した東京国際空港、新千歳空港などの工事においても、この技術が活かされています。今後も培った豊富な施工経験と技術力を活かして、空港の耐震対策への取組みを重点的に実施してまいります。

東京国際空港C滑走路地盤改良工事 ～長距離対応型曲がり削孔システムの採用

東京国際空港のC滑走路地盤改良工事の一部区間で、長距離対応型曲がり削孔システムを用いた浸透固化処理工法が採用され、当社JVが施工いたしました。

本システムの採用により、滑走路を供用しながらの施工が可能となり、工事は昼夜にわたって行われました。

施工中は、滑走路の路面の変状・隆起などに関して計測管理を行うなど、日々の空港の運用に支障をきたさないよう、細心の注意を払いながら施工管理を行いました。

【工事概要】

発注者：国土交通省関東地方整備局

施工本数：276本

改良土量：31,800m³



飛行機が離着陸する中での施工（薬液注入状況）

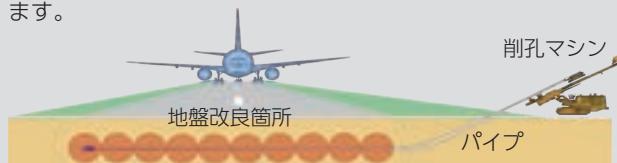
浸透固化処理工法が採用された主な空港



長距離対応型曲がり削孔システムによる浸透固化処理工法

浸透固化処理工法は、地震時に液状化する緩い砂層などを対象として、浸透性の高い薬液を直接注入することで液状化を防ぐ技術です。施工時の路面の隆起や水平変位など既設構造物への影響が少ないことが特徴です。

本工事で採用された長距離対応型曲がり削孔システムは、滑走路の脇から注入用のパイプを斜めに打込み、地中で自在にカーブさせることによって滑走路の下の改良箇所まで精度良く到達させることで、地盤改良することができます。



工法概要図

食品関連施設への取組み

「食」に対する消費者の嗜好の多様化や流通効率化などの動きを受け、全国で食品工場や冷蔵倉庫が建設されていくことが見込まれます。当社は、食品工場における衛生管理、異物混入防止のノウハウや最新設備の冷蔵倉庫の設計・施工などの実績を蓄積してまいりました。

2014年度も、ここに紹介する2件を含む複数の食品関連施設が完成しました。食品原料から食品加工、食品流通まで、様々な用途の施設づくりに携わってきた豊富な経験を活かし、今後も食品関連施設への取組みを強化してまいります。

■東京フード株式会社 本社工場棟増築

2014年5月、筑波研究学園都市の一角に、東京フード株式会社の本社工場棟増築工事が完成しました。

本工場では、チョコレートを型に流し込んで固めるための専用の充填室・冷蔵室などを増設し、チョコレートを中心とした食品生産設備の増強を図るとともにアレルギー対策も強化しています。また、食品製造の各種工程において、情報端末を活用して品質管理・在庫管理を行う最新の生産管理システムを構築し、高品質な製品づくりを実現しています。

【工事概要】

工事場所：茨城県つくば市

発注者：東京フード株式会社

主要用途：食品工場(チョコレート製造)

構造：鉄骨造 地上7階

総延床面積 20,280m²(既存棟を含む)



東京フード株式会社 本社工場棟 外観

■横浜冷凍株式会社 都城第二物流センター

2014年10月、交通アクセスに優れた九州縦貫自動車道都城IC至近に、横浜冷凍株式会社の都城第二物流センターが完成しました。本工場では、「リターンダクト冷却方式」を採用した冷蔵庫内の温度管理、「ハイブリッドデシカント陽圧システム」によるプラットフォームの低湿低温化など、様々な技術を駆使しています。また、太陽光発電システムや全館LED照明を採用し、ビルエネルギー管理システム (BEMS: Building Energy Management System)による消費電力の「見える化」と「最適化」を実現するなど、環境にも配慮した最新鋭の低温物流施設です。

【工事概要】

工事場所：宮崎県都城市

発注者：横浜冷凍株式会社

主要用途：冷蔵倉庫(収容能力 18,220t)

構造：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上4階

延床面積 15,611m²



横浜冷凍株式会社 都城第二物流センター 外観

シンガポール 病院建築工事への取組み

シンガポール政府は、急速に進展する高齢化、人口の増加、複雑化する慢性疾病治療などへの対策として、医療政策「Healthcare2020」を策定し、今後も良質な医療サービスを提供していく方針を示しています。

当社はこれまで、マウントエリザベスノベナ病院、国立大学病院（NUH）メディカルセンター、チャンギ総合病院を受注しており、シンガポールでの病院建築工事の実績を着実に積み重ねてまいりました。

2014年度、こうした実績が評価され、大型病院を受注することができました。今後も病院建築への取組みに注力し、積極的な営業展開を継続してまいります。

■ センカン総合病院

2014年10月、シンガポールにおける当社の病院受注として4件目となるセンカン総合病院建設工事を受注しました。本病院は、シンガポール最大規模の大型総合病院で、受注金額は日本円換算で約959億円となります。

【工事概要】

発注者：シンガポール政府保健省（MOH）
構造規模：RC造 地下2階 地上10階
延床面積：288,000m²
病床数：1,400床

■ チャンギ総合病院

2015年3月、シンガポールでチャンギ総合病院が完成しました。チャンギ総合病院は、「Healthcare2020」の中で東部の地域医療の中核に位置付けられています。当病院の完成により、隣接するセントアンドリュースコミュニティ病院と連携して、救急からリハビリを含めた長期療養まで幅広い医療サービスを提供できるようになります。

当病院は自然換気が採用されるとともにソーラーシステムやグリーンウォールも配される等、シンガポール建築建設庁の「グリーンマークプラチナム（BCA GREEN MARK PLATINUM AWARD）」を受賞した環境に配慮した建物です。

【工事概要】

発注者：シンガポール政府保健省（MOH）
構造規模：RC造 地下2階 地上8階
延床面積：36,700m²
病床数：280床

マウントエリザベスノベナ病院
(2012年4月完成)

センカン総合病院
(2014年10月受注)



NUHメディカルセンター
(2013年4月完成)

チャンギ総合病院
(2015年3月完成)



チャンギ総合病院 外観

シンガポール マリーナ高速道路485工区の完成

開発が進むマリーナベイエリアの南側に、陸上交通ネットワークの大規模な改善を目的としたマリーナ高速道路工事が完成しました。当高速道路は全長5.3km、そのうち3.6kmが地下トンネルとなっています。当社が担当した485工区は、シンガポール初の海底トンネル420mを含む、全長700mのトンネルです。海面から約20mの深さに、上り・下り合わせて10車線の巨大なトンネルを設計施工で構築しました。

■河川を締め切る難工事に挑戦

485工区の近傍にはマリーナバラージと呼ばれる河^{せき}口堰があり、施工中は施設の機能に影響を与えないように細心の注意が必要となりました。また、大雨等の際には堰に設けられた水門が開き、内側の水が放流されるため、これを妨げないように工事中は最低150mの放流幅を確保する必要がありました。トンネルの構築は、海を鋼管矢板で締め切って行うため、1,000本以上の鋼管矢板を海底の地中深くまで打設し、工事終了後にはその鋼管矢板を引き抜くという、世界的にほとんど例のない難工事となりました。世界最大級のバイブロハンマーを使用するなど様々な施工方法を駆使し、無事に工事を完了することができました。

また、本工事は人材開発省と安全衛生評議会がシンガポールの全産業を対象とした「職場安全衛生表彰 (WSH AWARD)」に3年連続で選出され、加えて発注者である陸上交通庁より「安全優良工事 (LTA SAFETY AWARD)」に2年連続で選ばれるなど、技術に加えて安全衛生環境面でも高い評価を受けています。

【工事概要】

発注者：シンガポール政府陸上交通庁 (LTA)

| | |
|--------------|-----------------------|
| 工事内容：海底トンネル工 | 420m |
| 陸上トンネル工 | 280m |
| 掘削工 | 950,000m ³ |
| 仮締切工 | 35,000t |



開通前の海底トンネル



150mの放流幅を確保しながら施工



鋼管矢板の打設状況

●連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

| 科 目 | 前 期 (平成26年3月31日現在) | 当 期 (平成27年3月31日現在) | 科 目 | 前 期 (平成26年3月31日現在) | 当 期 (平成27年3月31日現在) |
|----------------|-----------------------|-----------------------|--------------|-----------------------|-----------------------|
| (資産の部) | 301,626 | 366,169 | (負債の部) | 234,133 | 289,101 |
| 流動資産 | 202,487 | 266,517 | 流動負債 | 195,996 | 245,653 |
| 現金預金 | 32,602 | 38,469 | 支払手形・工事未払金等 | 101,975 | 127,083 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 131,639 | 170,228 | 電子記録債務 | 5,771 | 9,807 |
| 有価証券 | — | 42 | 短期借入金 | 37,416 | 38,286 |
| 未成工事支出金等 | 11,362 | 12,468 | コマーシャル・ペーパー | — | 19,996 |
| たな卸不動産 | 8,389 | 10,455 | 1年内償還予定の社債 | 10,000 | — |
| 未収入金 | 11,478 | 26,693 | 未払法人税等 | 2,071 | 2,533 |
| 繰延税金資産 | 3,161 | 2,722 | 未成工事受入金 | 16,229 | 21,524 |
| その他 | 4,637 | 6,457 | 完成工事補償引当金 | 876 | 705 |
| 貸倒引当金 | △782 | △1,019 | 賞与引当金 | 1,352 | 1,541 |
| 固定資産 | 99,080 | 99,575 | 工事損失引当金 | 2,707 | 3,021 |
| 有形固定資産 | 75,993 | 76,665 | その他 | 17,594 | 21,154 |
| 無形固定資産 | 1,090 | 1,142 | 固定負債 | 38,137 | 43,447 |
| 投資その他の資産 | 21,997 | 21,767 | 社債 | 10,000 | 20,000 |
| 繰延資産 | 58 | 76 | 長期借入金 | 17,521 | 16,614 |
| | | | 再評価に係る繰延税金負債 | 6,186 | 5,382 |
| | | | 役員退職慰労引当金 | 113 | 139 |
| | | | 退職給付に係る負債 | 3,396 | 117 |
| | | | その他 | 918 | 1,193 |
| | | | (純資産の部) | 67,493 | 77,068 |
| | | | 株主資本 | 60,540 | 65,457 |
| | | | 資本金 | 30,449 | 30,449 |
| | | | 資本剰余金 | 18,386 | 18,386 |
| | | | 利益剰余金 | 11,728 | 16,646 |
| | | | 自己株式 | △24 | △25 |
| | | | その他の包括利益累計額 | 6,797 | 11,575 |
| | | | 少数株主持分 | 154 | 35 |
| 1 資産合計 | 301,626 | 366,169 | 負債純資産合計 | 301,626 | 366,169 |

1 総資産・純資産

総資産は、事業量の拡大による完成工事未収入金の増加などにより、前期末と比較して645億円増加して3,661億円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより、前期末と比較して95億円増加して770億円となりました。

2 有利子負債

事業量の拡大による運転資金需要の一時的な増加により、前期末と比較して199億円増加して948億円となりました。工事進捗による資金回収などにより、有利子負債の削減に取り組んでまいります。

●連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

| 科 目 | 前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで) | 当 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで) |
|------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 3 売上高 | 381,182 | 426,237 |
| 完成工事高 | 372,366 | 414,892 |
| 開発事業等売上高 | 8,815 | 11,345 |
| 売上原価 | 356,517 | 398,764 |
| 完成工事原価 | 347,513 | 388,148 |
| 開発事業等売上原価 | 9,003 | 10,616 |
| 売上総利益 | 24,665 | 27,473 |
| 完成工事総利益 | 24,853 | 26,743 |
| 開発事業等総利益又は総損失(△) | △187 | 729 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,768 | 15,179 |
| 4 営業利益 | 9,896 | 12,293 |
| 営業外収益 | 915 | 916 |
| 営業外費用 | 1,652 | 1,817 |
| 4 経常利益 | 9,159 | 11,393 |
| 特別利益 | 369 | 550 |
| 特別損失 | 789 | 1,766 |
| 税金等調整前当期純利益 | 8,740 | 10,176 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,337 | 2,923 |
| 法人税等調整額 | 2,519 | 985 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 3,882 | 6,267 |
| 少数株主利益 | 120 | 83 |
| 5 当期純利益 | 3,762 | 6,183 |

3 売上高

好調な受注による手持工事の増加や、工事の順調な進捗などにより、全体で450億円増加して4,262億円となりました。

4 営業利益・経常利益

売上高の増加に加え、一部の海外連結子会社の業績が好調だったことなどにより売上総利益が増加したため、営業利益、経常利益ともに増益となりました。

5 当期純利益

経常利益の増加に加え、法人税等調整額が減少したことなどにより、61億円と過去最高益となりました。

●連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

| 科 目 | 前 期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで) | 当 期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで) |
|---------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 6 営業活動によるキャッシュ・フロー | △14,263 | △4,637 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △7,310 | △9,053 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 3,165 | 19,112 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 421 | 503 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △17,985 | 5,924 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 49,927 | 31,941 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 31,941 | 37,866 |

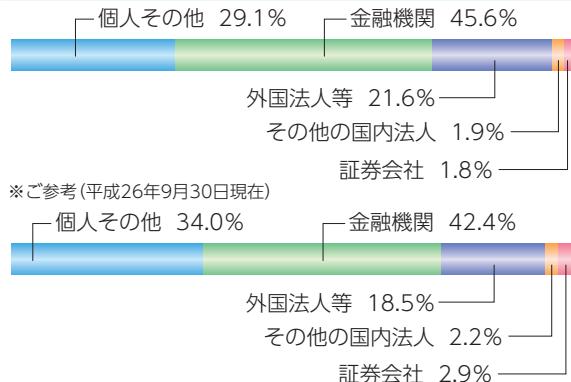
6 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加などにより、46億円の支出超過となりました。

株式の状況

発行可能株式総数…………… 599,135,000株
 発行済株式の総数…………… 286,013,910株
 株主数…………… 35,950名

所有者別分布状況 (株式数)

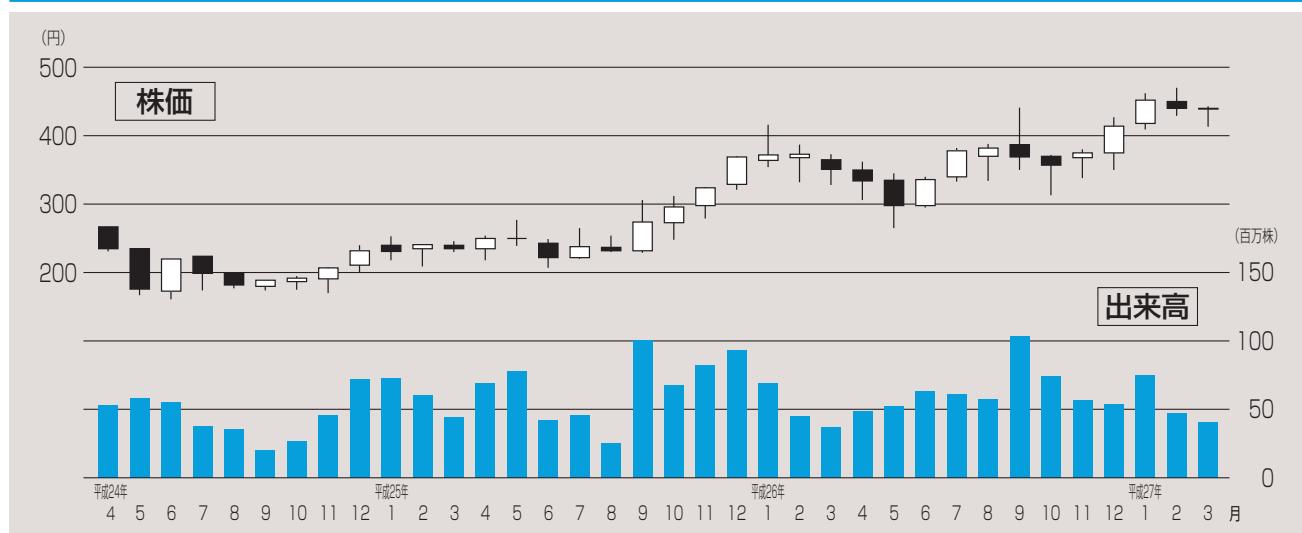


大株主の状況

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口) | 38,741 | 13.6 |
| 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口) | 22,625 | 7.9 |
| ピーピーエイチピーピーエイチティーエスアイエー ノムラ ファンズ アイルランド ピーエルシー | 7,415 | 2.6 |
| 株式会社みずほ銀行 | 7,059 | 2.5 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 6,656 | 2.3 |
| ジュニパー | 5,534 | 1.9 |
| ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リエグゼンプト ユーケー パンション ファンズ | 4,669 | 1.6 |
| 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 | 4,280 | 1.5 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 3,934 | 1.4 |
| 野村信託銀行株式会社 (投信口) | 3,604 | 1.3 |

(注) 持株比率は、自己株式(109,146株)を控除して計算しております。

株価および出来高の推移状況



>>> 会社の概況

会社概要

(平成27年3月31日現在)

商号 五洋建設株式会社
PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD.

設立 昭和25年4月28日

資本金 30,449,952,150円

従業員数 2,441人

上場証券取引所 東京・名古屋証券取引所

会計監査人 新日本有限責任監査法人

主な事業概要 当社は建設業法により特定建設業者（特-24）第1150号として国土交通大臣の許可を受け、土木・建築ならびにこれらに関連する事業を行っております。また、宅地建物取引業法により宅地建物取引業者（12）第1635号として国土交通大臣の許可を受け、不動産に関する事業を行っております。

主要事業所

(平成27年6月26日現在)

| | | | |
|--------|----------|---|--------------|
| 本店 | 112-8576 | 東京都文京区後楽2-2-8 | 03-3816-7111 |
| 札幌支店 | 060-0005 | 北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ10F | 011-281-5411 |
| 東北支店 | 980-8605 | 宮城県仙台市青葉区二日町16-20 二日町ホームプラザビル2F | 022-221-0932 |
| 北陸支店 | 950-8501 | 新潟県新潟市中央区東大通1-2-25 北越第一ビルディング5F | 025-246-1381 |
| 東京土木支店 | 112-8576 | 東京都文京区後楽2-2-8 | 03-3817-8890 |
| 東京建築支店 | 112-8576 | 東京都文京区後楽2-2-8 | 03-3817-7600 |
| 名古屋支店 | 460-8614 | 愛知県名古屋市中区錦3-2-1信愛ビル4F | 052-961-6234 |
| 大阪支店 | 530-0012 | 大阪府大阪市北区芝田2-7-18 オーエックス梅田ビル新館4F | 06-6486-2100 |
| 中国支店 | 730-8542 | 広島県広島市中区上八丁堀4-1 アーバンビューグランドタワー7F | 082-511-7900 |
| 四国支店 | 790-0011 | 愛媛県松山市千舟町4-4-3松山MCビル7F | 089-935-5755 |
| 九州支店 | 812-8614 | 福岡県福岡市博多区博多駅東2-7-27 TERASO II 6F | 092-475-5000 |
| 技術研究所 | 329-2746 | 栃木県那須塩原市四区町1534-1 | 0287-39-2100 |

海外営業所

| | | |
|-----------|----------|----------|
| シンガポール営業所 | 香港営業所 | ベトナム営業所 |
| インドネシア営業所 | マレーシア営業所 | エジプト営業所 |
| タイ営業所 | 中東営業所 | ミャンマー営業所 |

取締役

(平成27年6月26日現在)

| | |
|---------|--------|
| 代表取締役会長 | 村重 芳雄 |
| 代表取締役社長 | 清水 琢三 |
| 代表取締役 | 佐々木 邦彦 |
| 取締役 | 都 甲 明彦 |
| 取締役 | 植田 和哉 |
| 取締役 | 中満 祐二 |
| 取締役 | 野口 哲史 |
| 取締役 | 五十嵐 信一 |
| 取締役 | 稲富 路生 |
| 取締役 | 小原 久典 |

監査役

(平成27年6月26日現在)

| | |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 宮 園 猛 |
| 常勤監査役 | 樋口 達士 |
| 常勤監査役 | 福田 博長 |
| 監査役 | 豊島 達哉 |

執行役員

(平成27年6月26日現在)

| | | |
|-----------|--------|-------------------------------------|
| ※ 執行役員社長 | 清水 琢三 | |
| 執行役員副社長 | 津田 映 | 建築部門担当(兼)安全品質環境担当(兼)購買部担当 |
| ※ 執行役員副社長 | 佐々木 邦彦 | 経営管理本部長(兼)安全品質環境担当 |
| 執行役員副社長 | 近藤 浩右 | 土木部門担当(兼)安全品質環境担当 |
| 専務執行役員 | 山下 純男 | 建築部門担当 |
| 専務執行役員 | 望月 常好 | 土木部門担当 |
| 専務執行役員 | 柿本 泰二 | 国際部門担当 |
| 専務執行役員 | 河内 政巳 | 土木部門土木本部長(兼)安全品質環境担当 |
| ※ 専務執行役員 | 都 甲 明彦 | 国際部門長 |
| 専務執行役員 | 越智 修 | 東京土木支店長 |
| ※ 専務執行役員 | 植田 和哉 | 土木部門土木営業本部長 |
| 常務執行役員 | 北川 隆 | 土木部門担当 |
| 常務執行役員 | 中山 信也 | 建築部門都市開発本部長 |
| 常務執行役員 | 柳田 良一 | 東北支店長 |
| 常務執行役員 | 下石 誠 | 九州支店長 |
| ※ 常務執行役員 | 中満 祐二 | 建築部門建築営業本部長 |
| 常務執行役員 | 田原 良二 | 東京建築支店長 |
| 執行役員 | 中澤 貴志 | 安全品質環境本部長 |
| 執行役員 | 小林 義和 | 建築部門担当 |
| 執行役員 | 坪崎 裕幸 | 建築部門担当 |
| 執行役員 | 村山 正純 | 土木部門担当 |
| 執行役員 | 岡田 富士夫 | 国際部門担当 |
| ※ 執行役員 | 野口 哲史 | 土木部門土木本部副本部長(兼)技術研究所担当(兼)技術戦略室担当 |
| 執行役員 | 福島 正浩 | 東京土木支店副支店長 |
| 執行役員 | 緒方 晴樹 | 土木部門担当 |
| 執行役員 | 片山 一 | 土木部門土木営業本部副本部長 |
| ※ 執行役員 | 五十嵐 信一 | 建築部門建築本部長(兼)安全品質環境担当 |
| 執行役員 | 島内 理 | 四国支店長 |
| 執行役員 | 松山 章 | 大阪支店長 |
| 執行役員 | 日高 淳 | 経営管理本部副本部長(兼)経営管理本部総務部長(兼)総合監査部担当 |
| ※ 執行役員 | 稲富 路生 | 経営管理本部副本部長(兼)経営管理本部経営企画部長(兼)CSR推進室長 |
| 執行役員 | 佐々木 毅 | 建築部門担当 |
| 執行役員 | 小辻 昌典 | 名古屋支店長 |
| 執行役員 | 大下 哲則 | 中国支店長 |
| 執行役員 | 古野 博己 | 土木部門担当(環境事業)(兼)2020事業室担当 |
| 執行役員 | 勝村 潤治 | 国際部門国際管理本部長(兼)国際部門国際管理本部国際総務部長 |
| 執行役員 | 渡部 浩 | 建築部門建築営業本部副本部長 |

※印は取締役兼務者です。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
本店証券代行部

公告方法 電子公告にて当社のホームページ (<http://www.penta-ocean.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

剰余金の配当の基準日 毎年3月31日
証券コード 1893
なお、中間配当制度は採用していません。

【単元株式数の変更について】

平成26年4月1日付で、単元株式数を500株から100株に変更いたしました。これは、全国の証券取引所による、上場株式の売買単位を1,000株または100株に集約する計画に沿ったものです。この変更により、当社株式は100株単位で売買していただけます。

なお、株主様の持株数、お受け取りになる配当金額等が変わることはありません。また、株主様によるお手続きは一切不要です。

【単元未満株式の買取制度について】

単元未満株式とは、1単元（100株）に満たない1株から99株までの株式のことです。これらは株式市場で売買することができませんが、当社に対して買取請求をすることができます。

お手続き方法および用紙のご請求は、みずほ信託銀行株式会社（右記電話お問い合わせ先）にお申し出ください。

【特別口座から一般口座への振替手続きについて】

特別口座に記録されている株式を株式市場で売却すること、および特別口座から株式市場を通じて新たに株式を購入することはできません。

株式を株式市場で売買するためには、特別口座から一般口座への振替手続きを行う必要があります。

お手続きの詳細は、みずほ信託銀行株式会社（右記電話お問い合わせ先）にご確認ください。

■振替手続き手順



株式に関する住所変更等の届出およびご照会について

〈証券会社でお取引をされている株主様〉

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先
お取引のある証券会社になります。

〈特別口座に記録されている株主様〉

- 郵送物送付先
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
- 電話お問い合わせ先（フリーダイヤル）
0120-288-324

- お取扱店
みずほ信託銀行株式会社
全国本支店（トラストラウンジを除く）
みずほ証券株式会社
全国本支店・営業所

※未払配当金のお支払、支払明細発行につきましては、両株主様ともに上記の「特別口座に記録されている株主様」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

なお、未払配当金のお支払（配当金領収証をお持ちの場合）につきましては、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもご利用いただけます。

その先の向こうへ

GOING FURTHER



〒112-8576 東京都文京区後楽2-2-8

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



グリーンプリンティング認定制度を
取得している工場で印刷しています。



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用
して印刷しています。

